

項目	内容
名称	ヒイラギナンテン、ヒイラギメギ [英]Oregon grape、Barberry、Mountain grape、Oregon Barberry [学名]Mahonia aquifolium、Mahonia japonica (Thunb.) DC.
概要	ヒイラギナンテン（ヒイラギメギ）はアメリカ北西部原産のメギ科の常緑樹。高さ1～1.5 mに生長する。果実が利用される。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒイラギメギ (オレゴンブドウ) 全草：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・アルカロイド類 (ベルベリン (berberine)、ジャトロリジン (jatrorrhizine)、マグノフロリン (magnoflorine) など) を含む (20) (101)。
分析法	-
有効性	
ヒトでの評価	調べた文献の中に見当たらない。
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。

生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	<p>(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン</p> <p>(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳</p> <p>(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)</p> <p>(80) 植物レファレンス事典 日外アソシエーツ</p> <p>(101) PDR for Herbal Medicines Fourth Edition, Thomson</p> <p><a href="#">(PMID:16133554) Eur J Clin Pharmacol. 2005 Sep;61(8):567-72.</a></p> <p><a href="#">(PMID:14570772) Drug Metab Dispos. 2003 Nov;31(11):1391-7.</a></p> <p><a href="#">(PMID:10969720) Phytomedicine. 2000 Jul;7(4):273-82.</a></p> <p><a href="#">(PMID:3549923) J Infect Dis. 1987 May;155(5):979-84.</a></p>